

令和4年度岩手県青少年育成県民会議事業実施報告

事業は、公益社団法人認可を受けた事業体系である「青少年育成支援事業（公益目的事業1）」、「自立と社会参加推進事業（公益目的事業2）」及び「家庭づくり・健全な環境づくり事業（公益目的事業3）」の大きく3つに区分しており、そのうち県民会議が独自に実施した事業については「法人事業」、県からの補助を受けて実施した事業については「県補助事業」、県から運営を受託している青少年活動交流センターの業務として実施した事業については「センター事業」と表記しています。

1 青少年育成支援事業（公益目的事業1）

青少年の健全育成活動の普及、啓発、助長を図るため、引き続き地域における青少年育成の中核である市町村民会議との連携を進めるほか、地域の青少年関係団体等における人材育成や活動に関する意見情報交換、青少年の健全育成に関する様々なデータについての情報発信を行うとともに、各団体、グループ、ボランティア等がそれぞれの地域で実施する活動の支援を行いました。

(1) 青少年育成セミナー（研修会、関係団体意見・情報交換会）《法人事業》

県民会議の事業運営等に対する要望の把握や事業連携方策の検討、様々な課題に関する意見情報交換や講演会の開催等を通じて、市町村民会議ほか青少年関係団体等との連携強化と育成活動の活性化を図りました。

ア 研修会、関係団体意見・情報交換会

- 期 日：令和4年7月5日（火）
- 会 場：アイーナ8階 804A 会議室
- 参加者：22名（青少年団体、青少年育成団体及び市町村民会議、NPO等）
- 内 容：「フローな人生を送るためにー『with コロナ』の生き方」
東洋大学 名誉教授 八巻 節夫 氏

イ 各市町村民会議、青少年関係団体等との意見交換・懇談会

- 期 日：令和4年5月～令和5年3月（随時）
- 団 体：奥州市青少年育成市民会議、北上市地域安全推進市民会議、滝沢市青少年育成市民会議（3団体）
- 内 容：各地域に出向いての地域での青少年育成活動の実情と課題、市町村民会議及び青少年関係団体等との連携方策、県民会議の今後の在り方等に関する意見交換等

(2) 青少年育成地域活動支援事業《法人事業》（※公益目的事業3「子どもと向き合う親の講座」と合わせて実施）

地域における青少年育成活動の推進及び親の世代の子育て意識や教育力の向上を図るため、地域で活動する団体が行う体験・交流・実践活動事業や家庭・地域ふれあい教育推進事業5件に対し助成（決定）しました（1件5万円以内）。

審査会の開催 令和4年7月9日（金） アイーナ6階 講師控室1・2

- 助成対象団体：二戸市立仁左平小学校PTA
 - ・事業名：親子ふれあいダンス教室
 - ・日 時：令和4年8月1日（月）
 - ・場 所：仁左平小学校体育館
 - ・参加人数：仁左平小学校児童・保護者・職員・仁左平地域住民 48名
 - ・内 容：ライザップ公式トレーナーによるライザップ流食事指導、ライザップ流部分・全身ストレッチ、ライザップ流ダイエットダンス
 - ・助成額：46,420円

- 助成対象団体：ガールスカウト岩手県連盟
 - ・事業名：ハーベストリポート&ふれあい広場
 - ・日 時：令和5年1月29日（日）
 - ・場 所：アイーナ
 - ・参加人数：少女会員・成人会員・一般参加者計40名
 - ・内 容：＜ハーベストリポート＞小学校5・6年生の少女会員の実行委員を募集し、運営に参加。県内8か団が今年度の活動内容や体験し学んだことを発表
＜ふれあい広場＞クラフト体験・・・各団のブースを回り会員同士が交流（一般参加者あり）
 - ・助成額：50,000円
- 助成対象団体：PLELL
 - ・事業名：親子でふれあい謎解きプロジェクト
 - ・日 時：令和4年11月12日（土）
 - ・場 所：アイーナ 団体活動室
 - ・参加人数：小学生・保護者 10組25名
 - ・内 容：親子で一緒に参加する謎解きゲームイベント
 - ・助成額：50,000円

(3) 青少年育成指導者研修事業《法人事業》

市町村民会議会員、青少年育成指導者等の指導・育成スキルの向上や青少年の育成支援活動の活発化を図るため、内閣府主催等の研修会等に関係者を派遣しました。

全国青少年相談研究集会

○期 日：令和5年1月19日（木）～20日（金）

○参加者：1名

(4) 青少年育成講師等派遣事業《法人事業》（募集期間1月末）

地域における青少年育成活動の活性化を図るとともに、家庭や地域の教育力の向上に資するため、青少年育成支援活動に関わる実践者や活動家などの幅広い分野の人材を名簿に登録して、地域で活動する団体・グループが行う研修会・講演会に対し講師派遣の支援を行いました。

○支援内容：講師登録者数：18名、1団体（うち新規登録1名）

○派遣実績：6回6名

(5) 青少年育成貢献団体・貢献者表彰事業《法人事業》

優れた活動を行っている青少年、青少年育成指導者・団体等を広く顕彰するため、会員団体及び市町村から推薦を受け、令和5年2月に選考委員会を開催し、青少年育成指導者を表彰対象者として決定しました。

表彰は、令和5年6月開催予定の通常総会の席上で行います。（予定）

区 分		氏 名（所 属）	市町村
団体	青少年育成活動団体	認定NPO法人盛岡ユースセンター	盛岡市
個人	青少年育成指導者	佐藤 剛（奥州市少年少女発明クラブ）	奥州市
個人	青少年育成指導者	有原 英博（日本ボーイスカウト岩手連盟）	盛岡市

(6) 青少年ボランティア活動促進事業 《法人事業・センター事業》

年間を通じ青少年ボランティアを募集し、センターのボランティアスタッフとして登録して、いわて希望塾の青年サポーターやセンター事業でのボランティアとして活動していただくとともに、ボランティア登録者に対し、事業を通じたボランティアに関する研修の実施や、相互に交流・学習する場を設けること等により、ボランティアの育成とその活動の活発化を促進しました。

ア 事業を通じたボランティアに関する研修の実施

センター事業へのボランティア参加者が、事業の企画段階から参画するとともに、相互に交流する機会を設けることにより、ボランティア活動の活性化を促進しました。

○期 日：通 年

○内 容：いわて親子フェスティバルのボランティア（109名）による企画会議（5回）及び実行委員会（1回）など、事業を通じた研修や交流を行い、ボランティア相互のネットワーク形成の機会を設けました。

○参加者：県内に在住する概ね16歳～30歳の青少年、登録ボランティア（109名）を含め延758名 ※令和5年2月末現在

イ ボランティア活動促進のための講座

こどもの心をつかむわくわくワークショップ

第1回

○期 日：令和4年5月8日（日）

○会 場：アイーナ8階 803会議室

○対象者：保育士・幼稚園教諭・小学校教諭、ボランティア等 48名

○内 容：くぼたまさによるおとなのための研修会

講師：久保田 雅人 氏

第2回

○期 日：令和4年6月1日（水）

○会 場：アイーナ7階 小田島組☆ほ～る

○対象者：保育士・幼稚園教諭・小学校教諭、ボランティア等 39名

○内 容：こどもの心をひらくコミュニケーション講座

講師：盛岡大学短期大学部幼児教育科助教 及川 未希生 氏

ウ ボランティアの派遣

他団体等からの要請に応じ、ボランティアを派遣して、講座開催等に対する支援を行いました。

おうちでアイーナ～アイーナ料理教室「巣ごもり飯」～（主催：アイーナ管理事務室）

青少年ボランティアの企画運営への参画により、企画会議や調理の様子をアイーナのホームページ上で動画配信

第1回

○期 日：令和4年11月26日（土）

○会 場：アイーナ6階 調理実習室

○対象者：ボランティア 延31名

第2回

○期 日：令和5年3月3日（金）

○会 場：アイーナ6階 調理実習室

○対象者：ボランティア 延8名

(7) 青少年健全育成広報事業《法人事業・センター事業》

青少年活動交流センターにおける各種事業の実施や青少年の育成支援活動の先進的取組等に係る様々な情報について、広報紙やホームページ等により広報活動を行いました。

また、青少年に関わる様々なデータのほか、各種資料や報告書、論考等を加えて、青少年関係団体をはじめ広く県民に提供することを通じ、青少年健全育成運動の更なる活性化を図りました。

ア 一般広報事業

- 広報紙「青少年いわて」（11月、3月・各1,800部発行）
- インターネットによる広報（<http://www.aiina.jp/site/seishounen/>）
アクセス数 47,279件 情報発信 197日
ツイッターフォロワー 739名 フェイスブック友達 147名
- リーフレット
青少年健全育成県民運動啓発用「いわて家庭の日」カレンダー電子版の配信
各市町村等12回（毎月1回）
- 啓発活動 いわて家庭の日・相談室PRカード、クリアファイル配布 1,000部
- 「わたしの主張岩手県大会」発表文集 780部
- 「いわて希望塾」報告書 300部

イ データベース事業（随時実施）

青少年に関わる情報について、県や市町村、青少年関係団体等が常に最新の情報を共有し、相互に連携のとれた事業展開がなされるよう、健全育成、保健福祉、教育、非行防止等の各部門がそれぞれ独自に保有する様々なデータや各種資料等を収集、整理・分類等を行い、青少年活動交流センターのホームページを通じて青少年の育成支援に関する情報を総合的に提供しました。

(8) 青少年調査・研究事業《法人事業》（随時実施）

青少年を巡る厳しい社会経済情勢が続く中、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の問題について、県においては、平成28年度に子ども・若者育成支援推進法に基づく地域協議会の設置や指定支援機関の指定を行い、平成29年4月には総合相談センターを設置するなど、支援体制の構築とその充実に取り組んでおり、こうした県の動向に応じて、今後の支援の在り方、LINE相談等について県外の先進地視察を実施しました。

- 期 日：令和4年12月13日（火）
- 視察先：NPO法人蜘蛛の糸（秋田県）
- 参加者：2名
- 内 容：LINE相談の取組状況について

2 自立と社会参加推進事業（公益目的事業2）

次代を担う青少年の自立と社会参加を促進するため、社会人としての基礎的能力や地域づくり等への意識・意欲の向上を図るための研修・講座等事業を開催するほか、社会生活を営む上で困難を抱える子ども・若者の自立や支援を進めるための方策等についての学習の機会を提供しました。

また、青少年やその家族等を対象とする「青少年なやみ相談室」を運営し、青少年の自立を支援しました。

(1) わたしの主張岩手県大会《県補助事業》

次代を担う中学生が、未来に向けての夢や日常生活で感じたことなどについて発表する県大会を開催し、自らの主張を正しく理解してもらう力を身に付けることや、地域社会との関わりについて考え、行動する契機とするほか、中学生の考えや行動に対する理解を深める機会としました。

- 期 日：令和4年9月14日（水）
- 会 場：アイーナ 小田島組☆ほ〜る（盛岡市）
- 参加者：各地区代表者17名（地区大会応募者3,761名）
- 入賞者：最優秀賞1名 優秀賞2名 優良賞3名

※ 最優秀賞受賞者は、全国大会で努力賞を受賞。なお、今年度の全国大会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、WEB開催として実施されました。

区分	発表題	学校名	学年	氏名
最優秀賞	色を纏うように	田野畑村立田野畑中学校	2	三上 結楽
優秀賞	今、ここから	盛岡市立仙北中学校	3	三浦 萌
	自分らしさ	一関市立東山中学校	3	菅原 アンダーソン
優良賞	身近に潜む「思いこみ」	盛岡市立北松園中学校	3	小林 理乃
	目をそらさずに	奥州市立胆沢中学校	3	伊藤 千雛
	さんたり学び舎	大船渡市立第一中学校	3	小西 真央

(2) いわて希望塾《センター事業》(計画変更)

県内の中学生が体験的活動や市町村の枠を越えた交流活動、世界遺産、復興についての学びを行うことにより、積極的に岩手の復興や地域づくりを担おうとする、心豊かで意欲に満ちた人材を育成しました。また、研修にはサポーターとして青年ボランティアが参加し、ボランティアとの異世代交流を通じて幅広い考え方を養うとともに、ボランティア自身の学びの場としても活用しました。

○期 日：令和5年11月5日(土)

○会 場：県北青少年の家(二戸市)

○参加者：県内中学生約46人、青年サポーター12人

○内 容：・ワークショップ・グループディスカッション 講師：及川 未希生 氏
 ・地元講師による講話 講師：御所野縄文博物館館長 高田 和徳 氏
 ・塾長(岩手県知事)メッセージ、塾長との対話
 ・ふりかえり

(3) 青少年健全育成講座《法人事業・センター事業》

ア あそびの達人

遊びを通して仲間意識や思いやりの心等を学び、昔の遊びを体験することにより、異年齢との交流を通じて主体性や協調性を養いました。また、青年ボランティアが連携・協力して子どもたちの活動をサポートすることにより青少年活動に対する意識を高めることにもつながりました。(※アイーナ指定管理者等と共催)

○期 日：令和5年1月15日(日)

○会 場：アイーナ

○参加者：親子等527名 青年ボランティア21名

○内 容：昔ながらの遊び等 ※いわて家庭の日ミニイベントと併催

イ おしごと発見ツアー

青少年の職業観や社会性を養い、職業や社会の仕組みに関する理解を深めるため、近隣事業所を対象とする見学や職業体験、社会人との対話を内容とする講座を行い、青年ボランティアが連携・協力して子どもたちの活動をサポートすることにより青少年活動に対する意識を高めることを目的に実施しました。

○参加者：小学生20名 ボランティア1名

○期 日：令和5年1月10日(火)

○内 容：岩手銀行本店、Manoruda カフェ、いわて花巻空港、成島和紙工芸館の職場見学、職場体験

(4) 情報メディア対応促進事業《センター事業》

青少年のインターネットやスマートフォン等の利用が増え、有害情報で被害を受けたり、ネット上の誹謗、中傷、いじめなど青少年の健全育成上様々な課題が生じていることから、情報機器の正しい利用について地域での主体的な取組を促進し、青少年の健全育成を推進しました。

また、情報メディアに関する相談や研修会開催についての相談にも応じました。

ア 情報メディア対応能力養成講座(4地域)

県内4地域において、青少年健全育成関係者や保護者を対象に、インターネット上の違法・有害な情報やネットの特性を利用した犯罪、モラルを逸脱した行為等により、青少年が被害者ある

いは加害者になることを未然に防ぐため、ネットを巡る青少年の現状への理解を深め、情報メディアへの対応能力を養成するための講座を開催しました。

- 期 日：沿岸地区（大船渡市 11/25）、県南地区（花巻市 12/1）、
県北地区（二戸市 12/2）、県央地区（滝沢市 12/7）
- 参加者：合計（4回）98名 オンライン配信視聴回数：83回
- 講 師：岩手医科大学附属病院医師、岩手県警察本部人身安全少年課職員、
岩手県立生涯学習推進センター職員

イ 情報メディア「出前」講座

PTA関係者、保護者等からの要請に応じ、講師を派遣して、インターネットやスマートフォンを巡る青少年の現状への理解を深め、情報機器の適切かつ安全な利用が進むよう講座開催等に対する支援を行いました。（10回開催）

- 期 日：令和4年6月～11月
- 受講団体：小学校、中学校、高等学校、PTA、公民館等 延 800名
- 講 師：青少年活動交流センター職員

ウ 情報メディア対応機関連絡会議

情報メディア関係機関・団体等が相互に情報・意見交換を行い、最新の状況について共通認識を得るとともに、連携のとれた事業展開を行うことにより、相互の事業の効果的・効率的な推進を図ることを目的に実施しました。

- 期 日：令和4年5月26日（木）
- 会 場：アイーナ6階 講師控室1・2
- 参加機関・団体：7名（岩手県教育委員会事務局学校教育室、岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課、県立生涯学習推進センター、県立総合教育センター、盛岡市少年センター、警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課）

(5) 社会生活に困難を有する子ども・若者支援推進事業《法人事業・センター事業》

社会生活を営む上での困難を有する子ども・若者の現状や社会的背景及び支援方策について幅広く学習するとともに、専門家による2回の連続講座（セミナー及びワークショップ）を開催し、今後における「子ども・若者支援」の推進の在り方等について理解と認識を深めました。

ア 社会生活に困難を有する子供・若者支援セミナー

- 期 日：令和5年2月8日（水）
- 会 場：アイーナ6階 団体活動室3
- 内 容：子ども・若者をめぐる課題をテーマとする講座

期 日	演 題	講 師	参加者
令和5年 2月8日（水）	発達障がいと「気になる子ども」 の理解	盛岡大学短期大学部 教授 嶋野 重行 氏	69名（うちオ ンライン参加 59名）

イ 課題解決セミナーin 滝沢（滝沢市との共催）

- 期 日：令和4年7月23日（土）、30日（土）
- 会 場：ビッグルーフ滝沢大ホール（滝沢市）
- 内 容：第一部（7月23日）
発達障害の理解と支援に関する講演・現状報告・トークセッション
第二部（7月30日）
ペアレントトレーニング演習
- 参加者：青少年育成団体、市町村青少年担当者、学校、幼保園関係者等

合計（2回）252名（うちオンライン参加181名）

※YouTubeによる動画配信（7月23日～8月31日、視聴回数 344回）

DVD配布 30名

(6) 相談事業《センター事業》（通年実施）

平成29年4月に、青少年なやみ相談室が子ども・若者育成支援推進法に基づく「子ども・若者総合相談センター」として位置づけられ、多くの多様な相談が寄せられることから、相談員としての資質向上に努めるとともに、関係機関との連携強化を図りました。

ア 「青少年なやみ相談室」の運営

「青少年なやみ相談室」の相談員により、青少年の悩みや青少年活動に関する電話、面接又はメールによる相談に対応しました。なお、「子ども・若者総合相談センター」として、「相談室」の幅広い周知と利用の促進に努めました。相談件数：1,136件

イ 青少年相談事例検討会の開催

各相談機関が有する相談事例の情報共有及び事例への対応の在り方を検討する機会を確保し、相談スキルの向上を図るとともに、相談機関相互の連携を強化し、問題を抱える子ども・若者への支援を更に進めるため、他機関の相談員等の参加による事例検討会を開催しました。

(ア) 第1回（研修会）

○期 日：令和4年10月25日（火）

○会 場：アイーナ5階 501会議室

○参加者：28名（青少年団体、青少年育成団体及び市町村民会議、NPO等）

※YouTubeによる動画配信（11月1日～12月27日、視聴回数 41回）

○内 容：「学校から見えてくる子供と家庭の姿 ～ソーシャルワークの視点から～」

盛岡教育事務所スーパーバイザー兼スクールソーシャルワーカー

岩手県社会福祉士会 砂田 麻子 氏

(イ) 第2回（模擬事例検討）

○期 日：令和5年3月1日（水）

○会 場：アイーナ8階 804B会議室

○参加者：18名（相談機関の相談関係者等）

○内 容：青少年に関する相談機関の相談事例検討

3 家庭づくり・健全な環境づくり事業（公益目的事業3）

青少年の健やかな成長の基盤である「家庭」の役割について、親等の認識・気付きを促し、親子のふれあい等、家庭の大切さを呼びかける啓発活動と実践活動への支援を行い、健全で明るい家庭づくり運動を推進しました。

また、青少年が非行や未成年者喫煙等に陥らないよう、健全育成の環境づくりを進めました。

(1) いわて親子・家庭フォーラム《センター事業》

青少年の健全な育成・成長に果たすべき第一義的な責任は、家庭・保護者にあり、子育てには家庭における対話やふれあいが重要であることを啓発するとともに、地域全体で子育てを行う機運を醸成することを目的とし、子育て、家庭教育、親子の対話等をテーマとする講話とディスカッション等で構成するセミナーを企画するとともに、アイーナ全体を会場として、館内の入居団体との共催及びボランティアの企画段階からの参加等により、親子や家族で楽しみ、体験し、ふれあいを深めるイベントを開催しました。

いわて親子フェスティバル（アイーナ内入居団体との共催及びNPO・企業等の協力による）

○期 日：令和4年10月2日（日）

○会 場：いわて県民交流情報センター（アイーナ）

○参加者：親子6,053名、協力団体・出演者、青少年ボランティア 109名

○内 容：① SL乗車 等

② 親子で遊ぼう・親子で体験（親子で挑戦、親子で作る）等

③ 「いわて家庭の日」 絵画・ポスターコンクール作品展等

○運 営：会員団体や青少年ボランティアの企画運営への参画を図る。（企画会議5回、実行委員会1回）

(2) 「いわて家庭の日」普及拡大事業《法人事業・センター事業》

「いわて家庭の日」については、県民運動としての一層の普及・定着を図るため、県との連携を基本に、関係団体や協賛企業の協力も得ながら広報活動を実施するとともに、学校・PTAを通じた周知、事業所への浸透に取り組みました。

ア 広報啓発活動 いわて家庭の日 PRクリアファイル配布 500部

イ 会員団体、関係団体等の大会等でのチラシ配布、説明等（大会等に合わせて実施）

ウ ホームページによる広報（通年） <https://www.aiina.jp/site/iwate-kateinohi/>

エ 電子版「いわて家庭の日」カレンダーによる広報（毎月）、協賛企業による広報協力（盛岡タイムス）、頒布品（ダイアリー、カレンダー）への掲載協力（㈱白ゆり、杜陵高速印刷㈱）等

オ 県及び県教委との「いわて家庭の日」普及啓発に関する協議、協力要請

カ 「いわて家庭の日」協賛企業募集等 盛岡商工会議所への協力要請

キ 協賛企業の確保及び協賛企業との連携・共催による普及啓発活動の実施 等

ク 「いわて家庭の日」PRミニイベント（あそびの達人と併催）

家庭における基本的生活習慣の形成に関する啓発を行うなど、健全で明るい家庭づくり運動を推進するため、「いわて家庭の日」PRミニイベントを開催しました。

○期 日：令和5年1月15日（日）

○会 場：アイーナ

○内 容：家庭における基本的生活習慣の形成に関する啓発等

※昔ながらの遊び等を行う「遊びの達人」と併催

(3) 「いわて家庭の日」絵画・ポスターコンクール《法人事業》

「いわて家庭の日」の取組の一環として、家庭への思いを深めるため、県内の児童・生徒を対象に、家族でどのような過ごし方をしたのか（わたしの思い出）等をテーマに絵画・ポスターを募集し、アイーナ等で展示したほか、優秀作品を表彰しました。また、学内の組織（全校児童・生徒、学年、クラス、部活動 等）において、コンクールの実施に特に熱心に取り組んだ学校に対して、選考委員の合議により団体賞を贈呈しました。

○ 応募作品数：149作品（小学校 90作品、中学校・高校 59作品）

○ 入賞作品（10月18日選考委員会決定）

児童の部 最優秀賞1 優秀賞2 優良賞5 計 8作品

生徒の部 最優秀賞1 優秀賞1 優良賞2 計 4作品

団体賞 3校

児童の部

賞	画 題	氏 名	学 校 名
最優秀賞	ささのは、さらさら！家ぞくで七夕のかざりつけをしたよ！	柏木 咲沙	洋野町立大野小学校2年
優秀賞	花火をしたよ	下野 彪雅	宮古市立山口小学校1年
〃	家族でキャンプ	高橋 琉	北上市立江釣子小学校4年
優良賞	かぞくそろっていただきます	佐藤 羽紗	盛岡市立本宮小学校2年
〃	パチパチッ！家族で花火大会！	竹高 一愛	洋野町立大野小学校2年
〃	家族でキャンプ	野里 楓	滝沢市立滝沢中央小学校6年
〃	家庭菜園でおうち時間	赤平 悠真	北上市立黒沢尻北小学校6年
〃	花いっぱいえがおいっぱい	新渡戸 千鶴	北上市立和賀東小学校6年

生徒の部

賞	画 題	氏 名	学 校 名
最優秀賞	弟と妹の姿	佐藤 葵	盛岡市立大宮中学校
優秀賞	みんなで囲む温かい食卓	小笠原 利菜	岩手県立一戸高等学校
優良賞	夏の思い出	村上 さくら	奥州市立水沢中学校
〃	家族と本と広がる世界	千田 風花	岩手県立一関第一高等学校附属中学校

団体賞

宮古市立山口小学校
洋野町立大野小学校
花巻市立花巻中学校

○ 作品展

- ・令和4年9月21日(水)～10月1日(土) アイーナ6階ラウンジ
- ・令和4年11月18日(金)～27日(日) おでんせプラザぐろーぶ3階(北上市)
- ※ 北上市地域安全推進市民会議と共催により実施

○ 表彰式 令和4年11月27日(日) おでんせプラザぐろーぶ3階 第1学習室

(4) 子どもと向きあう親の講座《法人事業》(※公益目的事業1(2)「青少年育成地域活動支援事業」と合わせて実施)

家庭の役割を地域全体で再認識し、家庭の養育力、地域の教育力の向上を図るため、地域活動団体の行う講演などを共催し、経費の一部を助成するものです。

○ 助成額：1件当たり5万円以内(予算の範囲内で決定)

(5) 親子ふれあい広場「観武ヶ原まつり」《法人事業》(中止)

例年開催の「観武ヶ原まつり」に関し、ボランティアの参加・協力を得ながら、実施協力予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染を防止するため、中止としました。

(6) 非行・被害防止県民大会の開催等

ア 青少年を非行・被害から守る県民大会《県補助事業》

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大による県民のリスクを抑えるため、参加者を最大100人と例年より縮小したほか、オンラインで動画配信をして開催しました。(「社会を明るくする運動岩手県推進委員会」との共催)

○ 期 日：令和4年7月13日(水)

○ 会 場：アイーナ 7階小田島組☆ほ～る

○ 参加者：青少年育成関係者等 352名(うち動画視聴 68回)

○ 動画配信期間：令和4年7月15日(金)～8月31日(水)

○ 動画配信掲載場所：青少年活動交流センターホームページ

○ 内 容：講演、宣言等

- ・講 演「コロナ禍における青少年との向き合い方について」
岩手大学人文社会科学部 教授 奥野 雅子 氏

・意見発表

令和3年度(第23回)わたしの主張岩手県大会 優秀賞

「光」 岩手県立花巻南高等学校1年 留場 優那 さん

・作文発表

第71回“社会を明るくする運動” 作文コンテスト

社会を明るくする運動岩手県推進委員会委員長賞

「地域とのつながりを大切に」 滝沢市立滝沢第二中学校 2年 玉井 瞭平さん

イ 青少年の非行・被害防止県民運動の実施《法人事業》

「青少年の非行・被害防止全国強調月間(7月1日～31日)」に呼応し、関係機関、団体や

地域住民の相互協調、共通理解の下に、青少年の非行・被害の防止活動を進めました。

また、引き続き、「朝のあいさつ運動」「愛の一声運動」の推進を図るとともに、万引き防止対策に取り組み、関係機関・団体と協力して非行防止運動を推進しました。

ウ 未成年者喫煙防止及び薬物乱用防止等啓発活動の推進《法人事業》

関係機関・団体と提携を図りながら、ポスターの配布等啓発運動を推進しました。

5 県民会議機関の運営

(1) 通常総会 ※表彰式の取止め、出席者の制限等規模縮小により開催

○期 日：令和4年6月14日（火）

○会 場：アイーナ8階 804-A 会議室

○議 題：
・令和3年度事業報告について
・令和3年度収支決算の承認について
・役員を選任について

(2) 理事会

ア 第1回

○期 日：令和4年5月18日（水）

○会 場：アイーナ8階 802 会議室

○議 題：
・令和3年度事業報告及び収支決算の承認について
・総会の日時、場所及び付議事項について
・役員候補者について
・会長等の職務の執行状況について
・その他

イ 第2回

○期 日：令和4年6月14日（火）

○会 場：アイーナ8階 802 会議室

○議 題：
・副会長及び常務理事の選定について
・理事の順序について
・その他

ウ 第3回

○期 日：令和5年3月15日（水）

○会 場：アイーナ8階 802 会議室

○議 題：
・令和4年度事業実施状況について
・令和4年度補正予算について
・令和5年度活動方針及び事業計画について
・令和5年度収支予算について
・その他

(3) 三役会議

○出席者：会長、副会長及び常務理事

○期 日：令和5年3月1日（水）

○会 場：アイーナ6階 講師控室1・2

○議 題：
・令和4年度事業実施状況について
・令和4年度補正予算について
・令和5年度活動方針及び事業計画について
・令和5年度収支予算について
・その他